

## タウンミーティング議事要約

テーマ： シンクロシティ-あるいは、すでに起きた未来-  
日時： 平成31年1月27日（日）午前10時～11時30分  
場所： 全日警ホール 第3会議室  
参加者： 約70名

この回のタウンミーティングでは、参加者からの質問に Web 投稿を利用しました。  
議事要約に掲載している質問文は、投稿文をそのまま掲載しています。

<1>なんで市長になったの？

市長：

世のため、人のために働きたいと考えていたため。

<2>進みすぎたテクノロジーに対する拒否感をどう調整するか？

牧野：

長期的な視点で考えると、電話や飛行機など新しいテクノロジーを否定して得をしている人はいない。ロボットのようなテクノロジーを否定しては何も始まらないと考える。

<3>IT 勉強会ができる施設（強い wifi が備わってる、ハンズオンや電子工作ができる）がほしい

市長：

Wi-Fi や工作機器を備えた施設があれば、市民の皆さんが創造的に活動できるものとする。決して難しいことではない。

牧野：

そのような機能を有する施設として“Tech-Shop”と呼ばれるものがあり、アメリカにおいて特にその数が増えている。

<4>なんで市役所関連はその時間その場所に行かなければ進まないのにみんな不機嫌なの？

市長：

新しい本庁舎では、市民の皆さんが長時間待たされるといったことは生じないようにしていきたい。

<5>環境問題をどう解決するか

市長：

来年度からは循環型社会の形成を目指し、ごみからエネルギーを生み出すといった取り組みを進めたい。

<6>少子化対策として i-Step 継続させて下さい

市長：

これからも産後ケアなどの様々な取り組みを継続して子育てしやすい街をつくりたい。

<7>永遠の命は大変魅力的だと思いますが、新しい命が生まれ、人やその考え方が入れ替わる事も大事だと感じます

牧野：

生物がこれまで、生死による世代の入れ替わりによって新しいことを創出してきたことも考え、このテーマについては今後見守っていきたい。

<8>市川市の保育園入園業務はいつフロントエンドバックエンドの双方で IT 化、効率化されますか？

市長：

職員がこれまで何時間もかけて実施してきた入園業務は、AI を活用すれば数秒で済むものになる。今後導入を検討する。

<9>シンギュラリティに向かうとして市川市にとって大事なもの、残すものは？

市長：

市川市独自の文化や歴史、農産物を残していきたい。縄文文化や行徳の神輿、梨、いちご等が挙げられる。ICT や AI による支援も検討している。

<10>市民が積極的に参加できる仕組みを作ってください

市長：

ICT の活用は当然ながら、市民の皆さまの意見を直接聞けるよう、不断の努力を進めなければならないと考えている。

牧野：

行政への参加は、今後一層必要になるものと考えます。

<11>市川市は税金や保育料の LINE ペイをいち早く始めました。素晴らしいことだと思います。しかしながら、未だに公立小学校の手集金とそれに関わるトラブルもあとを絶ちません。教育資金の公費化、デジタル化はいつ実行できる見込みですか？

市長：

決して困難な課題ではないと思う。

<12>「学校業務にプログラミング教育が加わる」ことの意義をどのように理解していますか？

市長：

論理的な思考能力や物事の組み上げ方を学び、今後の生活上で必要となる最低限の IT の知識を身に付けることができると思う。

牧野：

プログラミングは夢中になって子どもが取り組めるため、良い教材になると考える。

<13>浄化槽について

市長：

下水道をつながなくても下水を浄化するような先端的な仕組みが開発されているという話を聞いたことがある。下水道や浄化槽が不要となるかもしれない。

牧野：

微生物の力を活用した技術も開発されている。

<14>単なる「市民の代表」「市政のチェック」が名目ならば議会は不要では？

市長：

生産的な議論の場になっているように考える。施策の本来のあるべき姿が明らかになる場として、非常に重要。

<15>市民が市に要求するだけでなく、市民ができることは積極的に参加することになりましょう。よって市と市民の役割分担が標準化していくでしょう。このようなことを考慮した場合に対応するために、市民と市がともに参加と積極的に関与できる共有のプラットフォームを作成してください

市長：

市民と行政との垣根を無くすという取り組みは、非常に大切なこと。

牧野：

近年、市の提示した社会課題を民間の企業が解決するような取り組みもみられる。

<16>テクノロジーが急速に進歩する中で、それに対応できる人間を育成していくために必要とされる教育とは？

市長：

基礎的な物事のプロセスを踏まえた上で、最新のテクノロジーに触れるべきであると考え  
る。字を書けるようになってからタイピングを習うというように、物事の基礎については  
教育課程で教えるべきと考える。

牧野：

人間の脳の基本構造は 5 万年近く変化してない。鉛筆を削っている最中に失敗して出血し  
てしまうといった経験をして、基本的なプロセスを身に付けるべき。

<17>結婚しない人が多いのも危惧しております。未来の家族の形は変わっていくのでし  
ょうか。

市長：

テクノロジーの進歩が必ずしも独身者を増やしているとは思わない。

牧野：

テクノロジーの進歩により、種の保存という意味では、結婚して子孫を増やすという方法  
以外のものも今後は出現していく可能性がある。家族の形も変わってくるかもしれない。

<18>小学生、中学生、高校生、大学生とのタウンミーティングをしてほしいです。子ど  
もたちが何を考えているのか、この先の未来のことをどう思っているのか、聞いてみたい  
です。

市長：

非常に良いアイデアであると考えます。次回は現役の高校生にも登壇してもらう予定。

<19>市川市も福岡のようにスタートアップの集まる特区指定を受けることはできないの  
でしょうか。古い文化、伝統も大切ですが、意欲のある若者が集まる活気ある街にしてほ  
しい。

市長：

まさに現在、福岡市に劣らぬ先進的なまちを目指しているため、ご期待いただきたい。

<20>新庁舎に新しい価値生む機能を持たせたいということですが、テクノロジーを導入  
した保育園を設立してください。

市長：

市民の方が様々な目的で来庁し、活用いただけるような庁舎を目指したい。

<21>今日の新技術は主に PC の発達によるもの。カウンセラーロボットも人間が考えた  
ルールを使っている。ルールを考え出す人間の育成がおざなりになるのが心配。

市長：

来年度の教育施策の目標は機械に取って代わられない子どもを育成することなので、安心していただきたい。

<22>市内でも繁栄する地域、衰退してしまう地域の格差を埋めるにはどうしたらいいでしょう？

市長：

ICT が利便性をうめる力を提供してくれると思う。

牧野：

遠隔医療や自動運転など、様々なツールの活用が期待できる。

<23>市役所職員は IT 能力を基準にして一定数採用すべきでは？

市長：

そのようにすべきであると考えている。

<24>市役所の最高権限者でありながら思う任せずいることは？特に予算執行に関しては？

市長：

現時点では特に不自由を感じていない。予算の組み立てに関しても、不要な予算は大幅にカットし、必要な予算は重点的に拡充している。

<25>フリーエネルギーは素晴らしいですが、あまりにもやり過ぎると、例えば石油会社等から反発が来ませんか？トヨタが水素自動車を開発しましたが、話題にもならなくなりましたし。

市長：

変化に対応できなければ、残念ながら私自身を含めて淘汰されてしまう可能性がある。アメリカで実際に電気自動車に乗った際には、そのことを痛感した。

牧野：

時代の流れに逆行してしまうと、倒産してしまう企業もある。

<26>市川市は今後どのような取り組みをしていくのですか。

市長：

次の 2 月議会において、私が市長となって初となる予算の審議や施策を表明する場面があるため、ご期待いただきたい。

<27>市川市役所で特技や技能をいかして副職で仕事したい。

市長：

様々な方を柔軟に採用していきたい。

<28>市民がテクノロジーを理解するにはどのようなことが取り組みが必要ですか。

市長：

テクノロジーを理解していただくために、様々な取り組みを進めていくが、現在は過渡期にあるため、ITを活用しない市民の方への対応は継続していく。

<29>市議会が機能していないと思いますが。。。

市長：

そのようなことは無く、生産的で価値のある議論がなされていると考える。ぜひ一度、市議会を傍聴していただきたい。

<30>生身の人間の良さを活かせる技術のあり方を考えられると良いですね

市長：

E-mail よりも手紙の方が伝わるものがある。生身の人間の良さは活かしていくべき。

牧野：

最終的には技術の使い方次第であると考え。人間の良さが活かせなくなってしまっは意味が無い。

<31>60 くらいになったら満員電車に乗らないで地域に貢献して生きたい。そういう場所は市川市で提供されますか？

市長：

まさに市川市役所がそのような場所になるように、現在、取り組みを始めているところであり、通勤せずに市役所に来て働けるなど、そういうふうにしていきたい。

牧野：

最近では、確かにテレワーク化やコワーキングスペース化が進んでいる。

<32>LGBT などの生き方の多様性や特別養子縁組を推奨してほしい。

市長：

非常に重要な課題であると認識しており、来年度ご期待いただきたい。

<33>なぜ市長になったの？と質問したけど。好きな事が地域をよくしたい事なら、好きな事をしてると言えますね。まさに好きな事で社会を変えている。

牧野：

名誉や金のためではなく、心から実行したいと思うことは、非常に大きなパワーを生みだす。

市長：

ありがとうございます。

<34>Istep は市川市の婚活支援事業です。来年度で終了みたいですが、是非それ以降も継続をお願いします

市長：

子どもを産んで育てやすい環境をつくることも見据えて今後も努めていきたい。

<35>世代間ギャップが今後より激しくなっていくと思いますが、どの層を中心としてたサービス展開を考えておられますか？

市長：

子どもだと思う。子どもがいなくなってしまうことは、地域社会における最大のリスクであると考えます。

牧野：

世代間ギャップは少なくなると思う。ミックジャガー（音楽家）のように、高齢でも元気に活躍する人は多い。技術の進歩によってますますそれが現実的になると考える。

<36>市川市は、文教都市ですが外部からの流入する人が多いので、行政に関心がなく投票率が低かったり、ふるさと納税の流失が多いと思います。IT の技術などでどのように解決しますか。

市長：

投票率の低下に関しては、ICT を活用して共通投票所のような取り組みや、電子化を検討している。ふるさと納税については、ジャガーさんやさかざきはる氏といった方々の魅力を活かし、文教都市としてのコンテンツ力で今後も勝負していきたい。

<37>シンギュラリティに向け、それに順応した子どもの教育をして、強い市川を創り上げて欲しいです。勉強云々ではなく、将来どうなりたいか、自分は何がしたいのか、新しい技術を使ってこれからの時代をどう生きるのか、子どもたちの人生観を養う教育をして欲しいです。

市長：

コーチングの導入や就学前教育、幅広い生涯学習について検討している。

牧野：

これまでの教育は、言われたことを言われたとおりに正確に実行するためのものがメインであり、AI で代替されてしまうリスクがあるが、このような教育から転換していくことは素晴らしい。

<38>皆さんが歳をとっても安心して暮らせる街にしたいと思います。大切な事は何だと思えますか。

市長：

人間に生身の力を活かしたり、文教都市としての歴史・文化、まちの環境を守っていくことに尽きると考える。

<39>端末を持っていない人はどうすれば良いのか？

市長：

なるべく、そのような方に不便が生じないような体制を整えていきたい。

牧野：

かつてはパソコンでなければできなかったことが、スマートフォンでできるようになっている。テクノロジーの方が人間に寄り添うような傾向も見受けられる。

<40>夫婦別姓はどう思いますか？女性の活躍しやすい場、役職についてはどう考えていますか？

市長：

夫婦別姓は重要なテーマであり、また女性が活躍しやすい場についても整備しなければならないと考える。アメリカのカリフォルニアのように、管理職の女性の割合を法で義務付けようとしている地域もみられ、見習う点がある。

<41>テクノロジーや民間ノウハウの活用はあるべきだが、効率性が最優先の尺度であるべきかは行政には慎重さが必要

市長：

効率性と豊かさは別物であり、その点は慎重に判断すべきであると考えている。

<42>シンギュラリティ大学に行ってみたいです。一般人でも入学できるのでしょうか？費用はどれくらいかかるのでしょうか？

牧野：

一般でも入学できるが費用はかなり高額です。ただし、日本においても同様のプログラムを提供する団体もあるし、シンギュラリティ大学が You Tube で発信している動画も参考になるので、そこから始めてみてはどうか。

【その他】開催中にとりあげることのできなかった意見とそれに対する村越市長の回答。

<43>テクノロジーの進化と自然災害対策の進化について

市長：

防災力がテクノロジーの進歩により高まり、市民の安心安全につながると考えている。

<44>市長はこれからの市川市には、どのような人材が必要だと考えていますか？また、どのような志を持つ人と共に働きたいと思えますか？

市長：

市役所っぽくない人。明るくて前向きな人。

<45>シンギュラリティ大学で何を学べるのでしょうか。市役所に活かせますか？

市長：

テクノロジーが世の中にどのように役に立つのかを学び、活かしていきたい。

<46>市川市の教育はタブレット端末やPC、スライドの活用できていますか？

市長：

今進めています。

以上